

タイトル: 日本の技能実習制度に思うこと

氏名: ケン ゴック ヲ

高校を卒業した時、家はお金がなく、大学に入れなかった私は、建設専門学校を選びました。その後、小さいな工場で月1万円ぐらいで仕事をしました。ある時技能実習制度を知って、先進国で勉強しながら仕事ができる二度とないチャンスだとわかって、日本へ行く決心しました。

面接合格の通知をもらった時、私は嬉しいながらも心配しました。言葉がわからない、文化も違う、新しい仕事と生活には慣れるのか、色々な質問が私の頭の中に浮かびました。そして日本へ行く日が来ました。日本では、さまざまな規則や礼儀があり、私が関心したのは相手を大切にすることです。それを理解するため、日本語がとても大事だと私は思いました。仕事についてはそれほど難しくないが、努力と頑張る心がない人にはうまくいきません。また、日本の生活は思ったより大変ではありません。ここには色々な食材があり、ベトナムの食物もあります。それほど高く

ないし、ベトナムより安いものもあります。

日本での実習、私は大きく成長しました。

自立できたり、色々な事を学びました。今は

もっと日本の文化を理解するため、日本語を

頑張っ、て勉強しています。私にとって日本は

とてもいい国でチャンスがあればまた来日し

たいです。一方日本に不満を持っている実習

生もいます。ルール違反したり、仕事を真面

目にしない、大音量で音楽を聞いたり、ゴミ

を勝手に捨てたりしています。また、遊びす

ぎてベトナムへの仕送りができなくなっ、たケ

ースが多いです。

日本は安全で便利で実習生に対して親切な

国です。ベトナムのイメージを良くなるため

に悪い事をしない、まじめに規則に従い、ル

ールを守りましょう。

私にとって、実習制度は素晴らしい制度だ

と思います。

この制度のおかげで、途上国であるベトナム

が、世界に誇る日本の最先端技術を学ぶこ

とができます。その技術を熟知した人達がベトナム人を教育し、その人材は将来知識を活かしてベトナムの発展に大きな力になると思います。また、日本で実習しながら、日本の独特な文化に触れることができるとてもいい機会です。

私は、来日した時、いくつもおどろいたことがあります。私は、地震が多い日本には、低い津物が大半だと思いました。でも、東京に来た時、おどろきました。巨大高層ビルやしっかり管理された複雑な道路、電車や地下鉄、そして高速度走行しても絶対安全な新幹線、すべては日本のハイテックによるもの、その中で欠かせないのは津設技術であることが分かりました。それを実感し、私は津設の実習を選んだことが正解でした。

仕事の中で、日本人から多く学びました。一番は正確さです。そして自分に対しての厳しさ、仕事の責任と誇りを持ち、伝統を守る精神で作業を取り組んでいます。一方、仕事が

終わった時に、親切で楽観的な人間になります。
来たばかりの頃、私はそれに慣れるのに
大変でしたが、いつの間にか私も似たような人
間になりました。

現在の實習制度は昔より大幅に改善されま
した。私達は単なる労働力不足を補う者では
なく、法律で守られ、虐待は少なくなっていて、
日本人も私達に親切に接するようになりました。
仕事はもちろん、生活にもいろいろな事
を見守ってくれました。私達はこの国で技術
を取得しながら仕事をさせて頂いた日本に感
謝します。日本の政府は私達を守り、平穏な
毎日を与えてくれた事を感謝し、そして、戸
田建設株式会社様戸田みらい基金様私の思い
を伝える機会を作って頂いた事を感謝してい
ます。

どうもありがとうございます。

ご清聴ありがとうございました。